

自転車走行空間整備事業についてです。

平成28年度決算の施策評価結果の一次評価では尼崎市自転車ネットワーク整備方針に基づき、約0.3kmを整備され、市道ネットワークが約4.1kmとなり、平成37年度の事業完了（全延長35km）に向け計画通りに進捗しているとされていますが、1年で何キロ整備を進めるなど具体的な計画はあるのでしょうか。

今後、自転車レーン等が延伸していくが、ネーミングライツ手法を取り入れ、協賛企業名を自転車レーンに塗装するなど財源確保してはどうでしょうか。

次に児童ホームの待機児童の早期解消についてです。

児童ホームの待機児童数が平成28年度、344人となっており、本市として重点化する施策として、施設整備、校舎活用など手法により待機児童解消に向け取り組んでいます。

潮小学校では現在、空き教室活用をしており、問題なく運営されています。

今後、待機児童の多い、学校では空き教室があれば児童ホームの活用も可能だと思いますが、ない場合でも1年生が使っている教室等に個人用電子ロッカーを設置するなどして、児童ホームとして教室を共同使用してはどうでしょうか。

英語ホップステップジャンプ事業についてです。

この事業は平成28年度新規事業としてスタートし、尼崎市の生徒の英語力の向上を推進するため、中学生を対象とした英語検定の受験料補助、実践的英語能力の向上を図るため、中学校2年生を対象とした英語学習合宿（英語キャンプ）や高校2年生を対象とした海外での語学研修を実施しています。

英語検定受験料補助では10月受験に限り、1人1000円を補助しています。本市では英検受験者数の目標を2000人にしており、平成28年度の達成率は目標値の半数になっています。

英語検定試験は6月、10月、1月の年3回ありますが、本市の補助は10月受験に限定しています。今後、受験者数を増やすため、10月受験に限定せず、年1回補助してはどうでしょうか。

受験料は2級5400円、準2級4800円、3級3400円、4級2100円、5級2000円になっており、本市では1000円を補助しています。他都市を見ますと（石川県かほく市）中学校全学年全生徒に英検受験を必修化し、受験費用は市費で負担（鹿児島県薩摩川内市）中学生受験希望者に年1回、全額公費負担（滋賀県甲賀市）希望者に年1回、半額公費負担しています。

本市に於いても英検受験者を増やすため、半額公費負担にするなど、補助金額の増額をしてはどうでしょうか。

英語学習合宿（英語キャンプ）は中学2年生50人が英語のみの会話による3泊4日の学習合宿を見方高原自然の家で行っています。参加生徒のアンケートでは「参加して自分の英語の力が身に付いたと思う」と95%生徒が回答しています。

このアンケート結果でも明らかのように、優れた施策だと思います。この英語学習合宿の参加者を増やされてはどうでしょうか。

次に快適な学習環境の整備についてです。

空調整備については暑さによる学習や健康への懸念、学校間の格差解消を図るため、空調未設置校への整備に向けた取組が行われています。平成28年度は小学校6校中学校7校の整備を実施し、中学校は100%になりました。

しかし、小中学校では設置から30年以上経過する全館空調設備の老朽化により、冷房の効かない学校が13校中11校あります。今年の夏休み期間に各学校で調査されていますが、調査結果を教えてください。

学習環境の学校間格差は解消すべき問題だと思います。来年度予算に向け、全館空調設備の老朽によって、学習環境の良くない学校は早急な対策費が必要と考えますがいかがでしょうか。

次にごみのないまちづくり事業費についてです。

不法投棄防止対策として巡回監視や収集、不法広告物の除去、主要駅前ターミナル等の清掃に伴うごみの収集運搬を公益財団法人尼崎環境財団に業務委託しており、平成28年度決算では約1億円の委託料がかかっています。

不法投棄防止対策では月曜日から水曜日に車両2台が市内をパトロールし、不法投棄物を木曜日と金曜日に車両2台で収集しています。不法広告物の除去は月曜日から金曜日に車両2台パトロールし、電柱などの不法広告物の除去を行っています。

その他、駅前ターミナル等の清掃に伴うごみの収集運搬を行っています。

他の自治体で行っている、市民通報システムの仕組みをつくり、尼崎環境財団への業務委託料を抑えてはどうか。